

円錐角膜や重症のドライアイの方、注目！！

AKS レンズ

(強膜レンズまたはスクレラルレンズ)

最近注目されている屈折矯正治療になります。現在、取り扱っている施設は少ないです。

ハードコンタクトレンズがよく外れてしまう、痛みが出るという方にも使用できる可能性が高いレンズです。レンズと角膜の間は人口涙液で満たされているため、様々な不正乱視や重度のドライアイなどに対応できます。

AKS レンズは通常のハードコンタクトレンズよりも大きくレンズとなりますが普通のハードコンタクトレンズに比べると装着感は良いとされています。

Q. 当院で取り扱うレンズは？

A. フランス LCS 社 レンズ名：AKS (AirKone Sclera) となります。

Q. AKS レンズの対象は？

A.主に以下の患者様が対象となります。

・円錐角膜（強度の方も）や角膜移植術後の方

→円錐角膜が進行するとハードコンタクトレンズが使用できないため、従来は角膜移植手術しか治療方法はありませんでした。しかし、手術をしなくても AKS レンズは視力改善が期待できるとされています。

・重度のドライアイの方（シェーグレン症候群など）

→重症ドライアイの目の乾き・痛みを軽減し、屈折矯正により視力を向上させ、角膜を透明化することが期待できます。

【AKS 治療の流れ】

① 適応検査 所要時間：2時間 6,600円(税込)

※トライアル検査前は正確な度数を判断するため、コンタクトレンズの使用を一定期間控えていただきます。

② トライアル・装着練習 所要時間：1~1.5時間 2,200円(税込)

⇒トライアル可能の場合

レンズ代金→両目：33万円(税込) 片目：16万5000円(税込) お支払いとなります。

③ レンズ受け取り

④ 定期検査

1か月後に定期検査を行います。その後は6か月ごとの定期検査になります。

注意事項

- ・※このレンズはソフトコンタクトレンズではありません。屈折治療矯正のためのレンズとなります。
- ・日本では未認可のレンズのため自費診療・保険適用外となります。同日の混合診療はできません。

AKS レンズ気になる方はスタッフにお声がけください